

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●アドマイヤマックスが死亡

2月12日(日)、アドマイヤマックス(牡24歳)が事故のため死亡しました。同馬は2005年高松宮記念(GⅠ)を制するなどJRA通算21戦4勝・海外2戦0勝の成績を残し、種牡馬としてはJBCクラシック(JpnⅠ)などの勝ち馬ケイティブレイブラを出しています。種牡馬からも引退した後は、北海道新冠町のビッグレッドファームに功勞馬として繋養されていました。

●重賞ウィナー8頭の競走馬登録抹消

2019年京王杯2歳S(GⅡ)などの勝ち馬タイセイビジョン(牡6歳/栗東・西村真幸厩舎/JRA通算21戦3勝)は、放牧先のノーザンファームしがらきで心不全のため死亡し、1月31日(火)付で競走馬登録を抹消されました。また、2020年報知杯弥生賞ディープインパクト記念(GⅡ)の勝ち馬サトノフラッグ(牡6歳/美浦・国枝栄厩舎/JRA通算12戦3勝)、2021年京阪杯(GⅢ)などの勝ち馬エイティーンガール(牝7歳/栗東・飯田祐史厩舎/JRA通算30戦6勝)、2020年中日スポーツ賞ファルコンS(GⅢ)の勝ち馬シャインガーネット(牝6歳/美浦・栗田徹厩舎/JRA通算17戦3勝)、2021年マーメイドS(GⅢ)の勝ち馬シャムロックヒル(牝6歳/栗東・佐々木晶三厩舎/JRA通算22戦4勝)、2019年きさらぎ賞(GⅢ)の勝ち馬ダノンチェイサー(牡7歳/栗東・池江泰寿厩舎/JRA通算20戦3勝)、2021年北海道スプリントC(門別・JpnⅢ)の勝ち馬ヒロシゲゴールド(牡8歳/栗東・北出成人厩舎/JRA通算30戦6勝・地方11戦1勝)、2022年新潟大賞典(GⅢ)などの勝ち馬レッドガラン(牡8歳/栗東・安田隆行厩舎/JRA通算29戦7勝・地方1戦0勝)は、2月8日(水)までに競走馬登録を抹消されました。サトノフラッグは北海道安平町のノーザンファーム、ダノンチェイサーは滋賀県甲賀市の吉澤ステーブルWEST、レッドガランは岡山県吉備中央町のサラブリティレーニング・ジャパンで乗馬となり、エイティーンガールは北海道浦河町の三嶋牧場、シャインガーネットは北海道安平町のノーザンファーム、シャムロックヒルは北海道千歳市の社台ファームで繁殖馬となる予定。ヒロシゲゴールドは北海道新ひだか町の岡田牧場で種牡馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●岩手の関本玲花騎手がレディスジョッキーズシリーズに優勝

11月22日の盛岡、3月2日の川崎で各2戦、計4戦のポイントの合計で争われたレディスジョッキーズシリーズ2022は、関本玲花騎手(岩手)が総合優勝を果たしています。

●グロリアムンディらが参戦、3月15日のダイオライト記念(船橋)

ダイオライト記念(JpnⅡ、3月15日、船橋、2400^米)は、グロリアムンディ、ベイシャエス、メイショウフンジン、牝馬テリオスベルの順に有力視されます。

●3月14日の黒船賞(高知)にシャマル、ヘリオスらが出走

黒船賞(JpnⅢ、3月14日、高知、1400^米)は、シャマルとヘリオスが双壁、以下ラプタス、昨年の覇者イグナイター(兵庫)、ケイアイドリー、サクセスエナジーまでが争覇圏内と考えられます。

●バーデンヴァイラーが有力、3月16日の名古屋大賞典(名古屋)

名古屋大賞典(JpnⅢ、3月16日、名古屋、2000^米)は、バーデンヴァイラーが最有力候補も、ニューモニュメント、ハギノアレグリアス、ケイアイパールも差なく続き、アルサトワは初のダートが課題となりそうです。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●ドバイで「スーパーサタデー」が開催

現地3月4日にUAE・ドバイのメイダン競馬場で「スーパーサタデー」が行われました。3月25日の「ドバイワールドCデー」に向けたステップレースが多く組まれたこの開催のメインレースとなるG1アル・マクトゥームチャレンジ ラウンド3(北半球産馬4歳上、南半球産馬3歳上、ダート2000^米)を制したのは、バーレーンのF.ナス調教師が管理するサルトザソルジャー(騾8歳、父セポイ)。A.デフリース騎手を背に5番手追走から直線で抜け出して、G2アル・マクトゥームチャレンジ ラウンド2の2着馬ベンドゥーグに2馬身差をつける快勝。このレース2年ぶり2度目の優勝を果たしました。また、この日行われたもう1つのG1であるジェベルハッタ(北半球産馬4歳上、南半球産馬3歳上、芝1800^米)は、D.オニール騎手が手綱を取ったアルファリーク(騾6歳、父ダークエンジェル、M.アル・メイリ厩舎)が逃げ粘るG1クイーンエリザベス二世S5着馬エルドラマをゴール前でかわして優勝。昨年のこのレース以来となる勝利を取っています。